

201301019A

厚生労働科学研究費補助金  
政策科学総合研究事業（政策科学推進研究事業）

## 高齢者介護サービスの質の包括的評価に関する研究

平成25年度 総括研究報告書

研究代表者 池上 直己

（慶應義塾大学医学部 教授）

平成26（2014）年 5月

# 目次

I.	研究体制	1
II.	総括研究報告	1
1.	目的	1
2.	方法	2
3.	結果	3
4.	次年度以降の展開	7
III.	資料編	8
1.	インターライ方式ケアアセスメント アセスメント表	8
2.	研修用教材	28
3.	アセスメントデータダウンロードシステムの機能	57
4.	ダウンロードするアセスメント項目一覧	65

## I. 研究体制

研究代表者 池上 直己

(慶應義塾大学 医学部 医療政策・管理学教室 教授)

研究分担者 石橋 智昭

(公益財団法人ダイヤ高齢社会研究財団 研究部長)

高野 龍昭

(東洋大学 ライフデザイン学部 准教授)

## II. 総括研究報告

### 1. 目的

我が国では、介護保険制度の導入により介護サービスの量的充足が飛躍的に進んだが、今後の急激な高齢化率の上昇や経済成長の鈍化に対応するためには、保健、医療、介護の包括的なサービスを効率的かつ効果的に提供していくことが不可欠である。効率化の推進にはエビデンスとなるアウトカム指標が必要だが、日本では対象者の機能状態の変化(悪化・改善)を定期的に把握する体制が整備されていない。客観的な評価のためのデータ収集体制を新たに構築するためには10年スパンの年月が必要とされ、多忙な現場の負担軽減が大きな課題として指摘されている。(介護サービスの質の評価の在り方に係る検討, 日本公衆衛生協会2010)。

一方、諸外国では利用者のケアプラン策定やモニタリング用にサービス現場で蓄積された“アセスメントデータ”を二次的に活用して、効率的にサービスの質の評価や政策評価のエビデンスを得る取り組みが始まっている。なかでも、ICFの理論的枠組みに準拠した臨床評価ツール(Berg, Ikegami et al., BMC Health Services Research 2009)であるインターライのアセスメント方式は、欧米を中心に国や自治体単位での採用が進んでおり、そのアセスメントデータから算出される「ケアの適切性を表す指標(Quality Indicators: 以下QI)」(Hirdes, Ikegami et al. Gerontologist 2004 補足資料表1参照)に基づいたベンチマーキングによって、サービスの質の向上に活用されている。

本研究では、わが国においてアセスメントデータを二次利用したサービスの質の評価体制の実現可能性を探るため、介護保険制度導入後に日本でも主要なアセスメント方式として定着しているインターライ方式(旧名:MDS方式)を対象として、利用者の状態変化に基づく客観的な質の評価モデルを構築する。そのうえで、算出された指標の効果測定および具体的なサービスの質の改善に向けて有用性を検証する。さらに、研究対象は交通機関や通信情報環境等の社会基盤が異なる多様な地区から50か所程度を選定し、算出されたアウトカム指標の地域間の比較分析をから、対象者の生活機能に及ぼす環境因子の影響を明らかにする。

3年計画の1年目である本年度は、以下の事を目的として研究を行った。

- (1) 協力介護事業所 50 か所(利用者 5 千人分)を確保する
- (2) アセスメントデータのダウンロード機能を開発する
- (3) アセスメントデータをダウンロードし、データベースを構築する

## 2. 方法

### (1) 対象フィールドの確保

これまでの研究組織を基盤に、介護事業者 8 か所、事業所 50 か所(利用者 5,000 人)を確保することを目的とした。事業所のリクルートは、QI が地域ベースで運用されることを考慮して、幅広い属性を含むよう留意した。

本研究でデータベース化されるアセスメントデータは、インターライ方式ケアアセスメントを用いて入力される。データの入力は、事業所のケアマネジャーや相談員（アセスメント担当者）が、担当利用者のケアプラン作成のために行う。インターライ方式ケアアセスメントはクラウドサービスによって提供されており、アセスメント担当者が担当利用者の状態をアセスメントした後、クラウドサービスを通じてデータ入力を行う。対象フィールドを確保するために、以下の取り組みを行った。

#### ① アセスメント研修用教材の開発

より正確なアセスメントデータの取得には、アセスメント担当者がインターライ方式に習熟している必要がある。本研究は、これまでの研究組織を基盤にフィールドの確保を行うが、インターライ方式は新しいアセスメント方式であるため、入力の方法を含めた研修資料の提供が必須であった。そこで、アセスメントデータの質を確保するため、インターライ方式ケアアセスメントによるアセスメントの研修教材を開発した。また、本教材の中にはケアの質と QI に関する講義資料も盛り込み、研究参加を促した。教材は、より広く研修を行う為、ウェブ上で取得できる形式で開発した。

#### ② 体験用 ID 試用システムの開発

上述したように、アセスメントデータはインターライ方式クラウドサービスを通じて入力される。アセスメントに習熟するためには、上記の研修教材での学習に加え、実際にクラウドを通じての入力を練習する必要があった。そこで、クラウドサービスを体験利用できるシステムを開発し、ID を交付することにより、アセスメント研修を円滑化させ、対象フィールドのさらなる拡大をはかった。

③ アセスメント実施研修および QI 研修会

上記の 2 つの研修方法は、これまでの研修基盤を対象にした研修、および広く研究参加を募る方法であった。これに加え、全国各地で研修会を開き、アセスメントと QI について詳細な研修を行い、研究協力を検討している事業者の研究参加を促した。研修の実施は、研究分担者（石橋智昭）の協力を得て行った。

(2) ダウンロードプログラム開発

インターライ方式クラウドサービスを提供する特定非営利活動法人 ASP・SaaS クラウドコンソーシアムに、アセスメントデータをダウンロードするカスタマイズ開発を委託した。

(3) アセスメントデータ収集・データベース化

研究分担者（石橋智昭）の協力を得て、利用者のアセスメントデータを定期ダウンロードし、QI 用のデータベースを構築した。アセスメントデータは 3～6 カ月周期で更新されるため、研究期間中を通じて蓄積した。なお、アセスメントデータのダウンロードは、研究協力の同意が得られた介護事業者と研究協定書を締結したうえで行った。

### 3. 結果

(1) 対象フィールドの確保

対象フィールドの確保に関する以下の取り組みを行った。

① 研修用教材の開発

研修用教材を開発した。実際にアセスメントを行う実務者向けの研修教材に加え、法人の研究参加に最終的な決定権を持つと思われる、法人の管理者向けの教材（実務者向け教材の抜粋）も開発した。教材はウェブ上で公開した(URL: <https://interrai.sakura.ne.jp/publicity/filelist/>)。実務者向け教材を資料編に示した。

② 体験用 ID 試用システムの開発

ウェブ上で体験用 ID を発行するシステムを開発し、参加希望者が 3 か月間、インターライ方式ケアアセスメントクラウドサービスを利用してアセスメントや入力方法について学習できるシステムを開発した。研究参加希望者には、体験用 ID 発行システムの URL(<https://interrai.sakura.ne.jp/publicity/submit/>)を伝え、ウェブ

上でアクセスさせた。

本年度終了時（平成 25 年 3 月 31 日）までにのべ 107 名が同システムに登録し、ID が発行された。また、全国で行われるアセスメント研修の担当者に対しても、同システムから ID を発行し、アセスメントの研修時に研究事業への参加を募集させた。

### ③ 全国研修会の実施

研究分担者（石橋智昭）の協力により、全国 15 か所で計 17 回の研修を行い、延べ 469 人のアセスメント担当者および事業所管理者が参加した。開催した導入研修の概要を表 1 に示した。

表 1. 導入研修の概要

開催日	場所	対象者	目的	参加人数	
H25	6月7日	大阪市平野区	社会福祉法人永寿福祉会 特別養護老人ホーム 長吉職員、 永広会島田病院管理職職員(4名)	導入準備	58
	6月21日				
	6月23日	NTTデータ東陽町	ケアプランソフト かがやきぶらんⅡ利用事業者、事業担当者	導入準備	11
	8月23日	福岡県博多市	(株)アスパル、(株)ケアウェル 職員	導入準備	12
	9月12日	大阪府羽曳野市	医療法人永広会 老人保健施設悠々亭 職員	導入準備	32
	10月13日	愛知県	愛知県インターライ研究会	導入準備	12
	11月2日	宮崎県	宮崎県介護支援専門員集会	導入準備	50
	11月3日				
	11月9日	新潟県	魚沼市社会福祉協議会介護支援専門員集会	導入準備	60
	11月10日	長野県	中信地域介護支援専門員集会	導入準備	30
	11月17日	鹿児島県	鹿屋市介護支援専門員集会	導入準備	98
	12月5日	千葉県鴨川市	医療法人鉄蕉会 亀田総合病院 職員	導入済初心者フォローアップ	30
	12月12日	墨田区曳舟	(株)ラックコーポレーション 介護支援専門員	導入済初心者フォローアップ	45
	H26	1月18日	大阪府	交野市介護支援専門員集会	導入準備
2月6日		千葉県上尾市	(株)ビジュアルビジョン 居宅支援事業所けあビジョン上尾 職員	導入準備	7
2月28日		長野県千曲市	居宅支援事業所 さくら 介護支援専門員	導入済初心者フォローアップ	1
3月17日		神奈川県横浜市	横浜市福祉サービス協会 管理職員	導入準備	10
		合計実施回数 17回		延べ参加人数 469人	

④ 研究協定書の締結

研究参加の開始に際しては、事業者より供与されるデータの情報セキュリティ対策について各居宅介護支援事業者、ソフトベンダーとの事前協議を慎重に行った。これら情報の取り扱いを含め、事業内容、費用、期間を明記した協定書を作成し、居宅介護支援事業者、ソフトベンダー、研究分担者の所属機関であるダイヤ高齢社会研究財団の3者による研究協定書を締結した。本年度は、10法人と研究協定書を締結した。表2に参加法人の概要を示した。

表2. 研究参加法人の概要

No.	法人名	所在地	事業所数
1	医療法人鉄蕉会（亀田総合病院）	千葉県鴨川市	1
2	（株）日本パムコ	千葉県市川市	2
3	（株）ラックコーポレーション	東京都墨田区	12
4	（株）ビジュアルビジョン	埼玉県上尾市	7
5	社会福祉法人こうほうえん	鳥取県米子市	1
6	（株）ケアウエル	福岡県行橋市	1
7	社会福祉法人 永寿福社会	大阪府大阪市	12
8	医療法人永広会（島田病院）	大阪府羽曳野市	1
9	（株）アスパル	福岡市中央区	1
10	医療法人 永和会（下永病院）	広島県福山市	1
法人数 10		事業所数 39	

(2) ダウンロードプログラム

① システムの開発

入力されたアセスメントデータをダウンロードするシステムを開発した。システムの詳細は資料編に示した。

② 個人情報の保護

本研究事業の実施においては利用者の個人識別番号が不可欠であるが、介護保険の被保険者番号などの既存番号では個人が特定される危険性がある。本研究事業では、居宅介護支援事業所の業務システムとして一元化されたシステム上に、「データのダウンロード時に被保険者番号を除外し、個人を識別し結合させている被保険者番号に変わり、個人情報を連結不能な記号・番号をシステムが自動的に付与する」自動変換機能を採用した。そのほか利用者の基本情報などの個人情報に関しても、ダウン

ロードシステムの設計段階で協議を重ね、個人情報に該当する項目が含まれないよう供与項目の選定を行った。

(3) データベース化

ダウンロードシステムを通じてダウンロードしたアセスメントデータから、データベースを構築した。収集されたデータの概要は以下の通りであった（表3）。なお、研究協定を締結した10法人中、実際にアセスメント入力がされた7法人のアセスメントデータをダウンロードした。

表3. データの概要

データ取得日	平成26年3月31日
取得対象期間	平成25年4月1日～平成26年3月31日
アセスメント件数	1716件
事業所数	36



#### 4. 次年度以降の展開

本年度は、研修教材の開発、体験用 ID 発行システムの開発、全国研修の実施によって、10 法人と研究協定を締結し、研究を開始することができた。また、ダウンロードシステムを通じて 1716 件のアセスメントデータをダウンロードし、データベースの構築を開始することができた。

しかし、本年度研究に参加した施設は 2 事業所のみであり、アセスメントデータのダウンロード件数が少なかった。次年度以降は施設の研究参加数を増やすため、重点的にリクルートを図る必要があると考えられる。

次年度は、協力介護事業所を確保し、データベースを拡大するための取り組みを強化する。具体的には、1 年目に作成した教材を介護事業所管理者やケアマネジャーに配信し、アセスメント方式の研修を引き続き行うが、上述したように施設の参加数が不足しているため、重点的な募集を図る。

また、約 3000 人分のアセスメントデータから QI を算出することを目的とする。QI 算出後は、算定された値の国際比較、リスク調整が適切に機能するかの検証、ベンチマーキングのプロフィール指標としての有用性の検証を行う。

最後に、QI を事業者にフィードバックしてケアの質改善効果を検証する予定である。

### III. 資料編

#### 1. インターライ方式ケアアセスメント アセスメント表

## A. 基本情報

A1. 氏名		利用者番号	
A2. 性別	1. 男性    2. 女性	A3. 生年月日	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 年 <input type="text"/> <input type="text"/> 月 <input type="text"/> <input type="text"/> 日
A4. 婚姻状況	1. 結婚したことがない    2. 結婚している    3. パートナーがいる 4. 死別した    5. 別居中, 事実上婚姻関係にない    6. 離婚した	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>	
A5. 介護保険証番号		A6. 事業所番号	
A7. 要介護度	0. 現在有効の認定結果はない    1. 要支援1    2. 要支援2 3. 要介護1    4. 要介護2    5. 要介護3    6. 要介護4    7. 要介護5	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>	
認定有効期間			
A8. アセスメントの理由	1. 初回アセスメント    2. 定期アセスメント 3. 再開時アセスメント    4. 著変時アセスメント 5. 終了時アセスメント    6. 終了時の記録のみ    7. その他	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>	
A9. アセスメント基準日	1. <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 年 <input type="text"/> <input type="text"/> 月 <input type="text"/> <input type="text"/> 日 2. <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 年 <input type="text"/> <input type="text"/> 月 <input type="text"/> <input type="text"/> 日 3. <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 年 <input type="text"/> <input type="text"/> 月 <input type="text"/> <input type="text"/> 日		
A10. 本人のケアの目標	1. <input style="width:100%; height:20px;" type="text"/> 2. <input style="width:100%; height:20px;" type="text"/> 3. <input style="width:100%; height:20px;" type="text"/>		
A11. アセスメント時の居住場所	1. 自分の家/アパート/賃貸の部屋    2. 高齢者住宅:有料老人ホーム(特定施設入居者生活介護無し) 3. 高齢者住宅-有料老人ホーム(特定施設入居者生活介護有り)    4. 認知症対応型共同生活介護 5. 小規模多機能型居宅介護    6. 介護老人福祉施設    7. 介護老人保健施設 8. 介護療養型老人保健施設    9. 介護療養型医療施設    10. 回復期リハビリテーション病棟/病院 11. 精神科病院/病棟    12. 緩和ケア病棟    13. 上記(9~12)以外の病院 14. 精神障害者施設    15. 知的障害者の施設    16. ホームレス(シェルター利用の有無は問わない) 17. 刑事施設    18. その他		
		<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>	
A12. 同居形態	A12a. 同居者    1. 一人暮らし    2. 配偶者/パートナーのみ 3. 配偶者/パートナーとその他と    4. 子供と(配偶者/パートナーはなし) 5. 親や保護者と    6. 兄弟と 7. その他の親族と    8. 親族以外と		
		<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>	

A. 基本情報

A12b. 90日前(または前回アセスメント時)と比較して同居形態の変化 0. いいえ 1. はい	1 2 3 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
A12c. 利用者や家族,身内は,利用者は他のところに住むほうがいいのではないかと考えている 0. いいえ 1. はい, 他の居住場所 2. はい, 施設入居	1 2 3 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
A13. 退院後の経過期間 0. 過去90日間に入院していない 1. 31から90日前に退院した 2. 15から30日前に退院した 3. 8から14日前に退院した 4. 退院したのは7日以内 5. 現在入院中	1 2 3 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

B. 相談受付表【注:このセクションは,初回アセスメント時のみ】

B2. 受付日	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 年 <input type="text"/> <input type="text"/> 月 <input type="text"/> <input type="text"/> 日
B3. 相談受付時までの経過	
B4. 相談受付内容	
B5. 過去5年間の入居歴 0. いいえ 1. はい (短期は含まず)	
B5a. 介護施設,療養病院/病棟	<input type="checkbox"/>
B5b. 認知症対応型共同生活介護,小規模多機能型居宅介護	<input type="checkbox"/>
B5c. 高齢者住宅:有料老人ホーム(特定施設入居者生活介護有り・無し含む)	<input type="checkbox"/>
B5d. 精神科病院,精神科病棟	<input type="checkbox"/>
B5e. 精神障害者施設	<input type="checkbox"/>
B5f. 知的障害者の施設	<input type="checkbox"/>
B9. 教育歴 1. 未就学:小学校中退を含む 2. 小学校卒:高等小学校・新制中学中退も含む 3. 高等小学校・新制中学卒:旧制中学・新制高校中退も含む 4. 旧制中学・新制高校卒:専門学校・専修学校中退も含む 5. 専門学校・専修学校卒:旧制高校・短大中退も含む 6. 旧制高校・短大卒:大学中退も含む 7. 大学卒:大学院中退も含む 8. 大学院修了	<input type="checkbox"/>
B10. 医療機関受診時の送迎 1. 家族 2. 友人 3. 施設等の職員 4. その他:送迎支援必要ない場合を含む	<input type="checkbox"/>
B11. 受診中の付き添いが必要 0. いいえ 1. はい	<input type="checkbox"/>

C. 認知

C1. 日常の意思決定を行うための認知能力

- 0. 自立：首尾一貫して理にかなった判断ができる
- 1. 限定的な自立：新しい事態に直面したときのみいくらかの困難がある
- 2. 軽度の障害：特別な状況において、判断力が弱く、合図や見守りが必要である
- 3. 中等度の障害：常に判断力が弱く、合図や見守りが必要である
- 4. 重度の障害：判断できないか、まれにしか判断できない
- 5. 認識できる意識がない、昏睡→セクションGへ

1	2	3

C2. 記憶を想起する能力    0. 問題なし    1. 問題あり

- C2a. 短期記憶：5分前のことを思い出せる、あるいはそのように見える
- C2c. 手続き記憶：段取りを踏んで行なうべきことを合図がなくても初めから手順を踏んでほとんどすべてできる
- C2d. 状況記憶：よく顔を合わせる介護者の名前や顔を認識し、かつよく訪れる場所(寝室や台所など)の位置がわかっている

1	2	3

--	--	--

--	--	--

C3. せん妄の兆候【注:正確なアセスメントのためには、過去3日間の利用者の行動を知る家族らと会話する必要がある】

- 0. 行動はない    1. 行動はあるが、それは普段と同じである
- 2. 行動はあり、普段の様子と違う:新たに出現した、悪化した、数週間前とは違うなど

C3a. 注意がそらされやすい：集中力がない、話がそれるなど

1	2	3

C3b. 支離滅裂な会話がある：会話が無意味で無関係、もしくは話題が飛ぶ、思考が脱線するなど

--	--	--

C3c. 精神機能が1日の中で変化する：時々良かったり、悪かったりする

--	--	--

C4. 精神状態の急な変化— 通常とは異なり、不穏になった、無気力になった、起きあがれなくなった、周囲の環境への認識が変わった、などの変化

- 0. いいえ    1. はい

1	2	3

C5. 過去90日間（または前回アセスメント以降）の意思決定能力の変化

- 0. 改善した    1. 変化なし    2. 悪化した    8. 判定不能

1	2	3

D. コミュニケーションと視覚

D1. 自分を理解させることができる

- 0. 理解させることができる : 容易に考えを表現できる
- 1. 通常は理解させることができる : 十分に時間が与えられていないと、言葉を思い出したり、考えをまとめるのが困難。しかし、本人の考えを引き出す必要はない
- 2. しばしば理解させることができる : 言葉を見つけたり、考えをまとめるのに困難。通常は本人の考えを引き出す必要がある
- 3. 時々理解させることができる : その能力は具体的な欲求に限られる
- 4. ほとんど、あるいは全く理解させることはできない

1	2	3

D2. 他者を理解できる能力（理解力）補聴器を用いている場合は使用した状態で.

- 0. 理解できる : 明解な理解力
- 1. 通常は理解できる : 会話の大部分は理解している。ほとんど、あるいは全く言い直す必要はない
- 2. しばしば理解できる : 一部を理解できないことがあるが、言い直しによって、しばしば会話を理解できる
- 3. 時々理解できる : 単純で直接的なコミュニケーションには適切に反応する
- 4. ほとんどまたは全く理解できない

1	2	3

D3. 聴覚

D3a.聴力 補聴器を用いている場合は使用した状態で.

- 0. 適切 : 普通の会話,社会的交流,テレビを見ることに何の問題もない
- 1. 軽度の障害 : 状況によって困難がある(相手が静かにしゃべったり, 2メートル以上離れているときは困難,など)
- 2. 中等度の障害 : 通常の会話を聞くのに問題があり,周りを静かにすると良く聞こえる
- 3. 重度の障害 : すべての状況で困難がある(話し手が大声を出したり, 非常にゆっくり話す必要がある.)
- 4. ほぼ聴こえない

1	2	3

D3b.補聴器の使用

- 0. いいえ    1. はい(右耳のみ)    2. はい(左耳のみ)    3. はい(両耳)

1	2	3

D4. 視覚

D4a.視力 眼鏡や拡大鏡等を使用した状態で

- 0. 適切 : 新聞や本の細字も含めて細かい部分まで見える
- 1. 軽度の障害 : 見出しは見えるが,新聞や本の普通の文字は見えない
- 2. 中等度の障害 : 新聞の見出しは見えないが,周囲の物体を識別できる
- 3. 重度の障害 : 周囲の物体を識別しているかわからないが,目で動体を追っているようである。明かりや色,形を識別できるだけ含まれる
- 4. 視力がない : 視力がない。目は物体を追わないように見える

1	2	3

D4b.眼鏡、コンタクトレンズ、拡大鏡などの使用

- 0. いいえ    1. はい

1	2	3

E. 気分と行動

E1. うつ,不安, 悲しみの気分の兆候 過去3日間に観察された兆候。原因は問わない【可能なら本人に聞く】

0. ない  
 1. あるが, 過去3日間には見られていない  
 2. 過去3日間のうち1~2日に見られた  
 3. 過去3日間毎日見られた

	1	2	3
E1a. 否定的なことを言う	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
E1b. 自分や他者に対する継続した怒り	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
E1c. 非現実な恐れがあることを思わせる非言語を含む表現	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
E1d. 繰り返し体の不調を訴える	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
E1e. たびたび不安,心配ごとを訴える(健康上の不安は除く)	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
E1f. 悲しみ,苦悩,心配した表情	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
E1g. 泣く,涙もろい	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
E1h. ひどいことが起こりそうだと繰り返し言う	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
E1i. 興味をもっていた活動をしなくなる	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
E1j. 社会的交流の減少	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
E1k. 人生の喜びを失っているという非言語を含む表現(快感喪失)	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

E2. 利用者自身が応えた気分 “過去3日間どのくらい〇〇がありましたか”と聞く

0. 過去3日間にはない  
 1. 過去3日間にはないが,しばしばそのように感じる  
 2. 過去3日間のうち1,2日あった  
 3. 過去3日間毎日あった  
 8. 答えられない(したくない)

	1	2	3
E2a. 普段楽しんできたことに興味や喜びが沸かなかったこと	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
E2b. 不安だったり,落ち着かない感じ	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
E2c. 悲しく,落ち込んで,絶望する感じ	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

E3. 行動の問題 観察された兆候。原因は問わない

0. ない  
 1. あるが, 過去3日間には見られていない  
 2. 過去3日間に1~2日見られた  
 3. 過去3日間毎日見られた

	1	2	3
E3a. 徘徊	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
E3b. 暴言	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
E3c. 暴行	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
E3d. 社会的に不適切な迷惑な行為	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
E3e. 公衆での不適切な性的行動や脱衣	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
E3f. ケアに対する抵抗	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
E3g. 無許可の退居・家出またはその恐れ	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

E4. 最近3日間における生活の満足度(心身の健康度, 日常生活の充実度や趣味活動への参加など)

0. とても満足  
 1. 満足  
 2. ある程度満足  
 3. どちらとも言えない  
 4. あまり満足していない  
 5. とても不満である

	1	2	3
	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

F. 心理社会面

F1. 社会関係【可能な限り,本人に聞く】

0. 全くない                      1. 30日以上前にあった                      2. 8日から30日前にあった  
 3. 4日から7日前にあった      4. 過去3日間にあった                      8. 判定不能

- F1a. 長期にわたって関心のある活動への参加  
 F1b. 家族や友人の訪問  
 F1c. 家族や友人とのその他の交流  
 F1d. 家族や友人との葛藤や怒り  
 F1e. ある家族や近い知り合いに対する恐れ  
 F1f. ネグレクト(遺棄・放置),粗末に扱われる,虐待される

	1	2	3
F1a.			
F1b.			
F1c.			
F1d.			
F1e.			
F1f.			

F2. 孤独 自分はさみしいと思っていると言うか, それを表す

0. いいえ      1. はい

	1	2	3

F3. 過去90日間(または前回アセスメント以降)の社会的活動の変化

社会的, 宗教的, あるいは仕事や趣味の活動への参加が減っている。  
 もし減っているならそれで悩んでいる

0. 減っていない      1. 減っているが,悩んでいない      2. 減っており,悩んでいる

	1	2	3

F4. 日中, 一人きりでいる時間

0. 1時間未満      1. 1〜2 時間      2. 2時間以上8時間以内      3. 8時間以上

	1	2	3

F7. 過去90日間の大きなストレス

深刻な病気に罹った,近い関係の人の中に重病にかかった人がいたり,亡くなった人がいた,  
 家を失った,収入や資産が激減した,泥棒や詐欺の被害にあった,運転免許を失ったなど

0. いいえ      1. はい

	1	2	3

F8. 強み (ストレングス)

F8c. 家族との強い支援的な関係

0. いいえ      1. はい

	1	2	3



G. 機能状態

G1. IADL の実施状況と能力

- (A)実施：過去3日間に家や地域で日常の活動としてどの程度実施したか  
 (B)能力：その活動を出来る限り自立して実施できる仮定の能力。  
 アセスメントする者の推測が必要である

0. 自立：援助も準備も見守りも必要ない

1. 準備のみ

2. 見守り：実施時の見守り/合図が必要

3. 限定された援助：ときに援助が必要

4. 広範囲な援助：活動を通して援助が必要であるが、そのうち50%以上は自分で実施する

5. 最大限の援助：活動を通して援助が必要であり、自分で実施しているのはそのうち50%未満である

6. 全面依存：アセスメント期間内すべて他者にやってもらった

8. 本活動は一度も行なわれなかった：注:実施ではあり得るが、能力の欄にはこの選択肢はない。

	(A)			(B)		
	1	2	3	1	2	3
G1a. 食事の用意：献立を考える,材料を用意する,調理する,配膳する	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
G1b. 家事一般：皿洗い,掃除,布団の上げ下げ,整理整頓,洗濯など	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
G1c. 金銭管理：どのように請求書の支払いをし,貯金残高を管理し,家計の収支勘定をし,クレジットカードの管理をしているか	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
G1d. 薬の管理：薬の時間を思い出す,袋や薬ケースを開ける,1回服用量を取り出す,注射を打つ,軟膏を塗るなど	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
G1e. 電話の利用：必要に応じて数字部分を大きくした電話機,音の拡大装置など使ってもよい	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
G1f. 階段：1階分の階段(12~14段)を上り下りできるか.半分まで(2~6段)しかできない場合,自立とはしない	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
G1g. 買い物：どのように食べ物や日用品の買い物をしているか(店までの移動は含めない)	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
G1h. 外出：どのように公共の交通機関を使ったり,自分の運転(車の乗り降りも含む)によって外出するか	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

G. 機能状態

G2. ADL

過去3日間に起きた当該ADLのすべての動作に基づいて評価する。一度でも6があり、他の場面ではより自立していた場合、5を記入。それ以外の状況は、最も依存的であった動作に着目する。その中で最も依存的な状態が1であれば1、そうでなければ2から5より最も依存していない援助レベルを記入する

- 0. 自立：すべての動作に身体援助、準備、見守りはなかった
- 1. 自立、準備の援助のみ：物品や用具を用意したり、手の届く範囲に置くのみで、すべての動作において身体援助も見守りもなかった
- 2. 見守り：見守り/合図
- 3. 限定的な援助：四肢の動きを助ける、体重を支えずに身体的な誘導をする
- 4. 広範囲な援助：利用者がタスクの50%以上実施し、一人の援助者による体重を支える（四肢を持ち上げることも含まれる）援助
- 5. 最大限の援助：2人以上の援助者による体重を支える（四肢を持ち上げることも含まれる）援助、またはタスクの50%以上に及ぶ体重を支える援助
- 6. 全面依存：すべての動作において他者がすべて行なった
- 8. この動作はなかった

G2a. 入浴：背中を洗う、洗髪は含めない

1	2	3

G2b. 個人衛生：入浴とシャワーは含めない

1	2	3

G2c. 上半身の更衣

1	2	3

G2d. 下半身の更衣

1	2	3

G2e. 歩行

1	2	3

G2f. 移動

1	2	3

G2g. トイレへの移乗

1	2	3

G2h. トイレの使用：移乗は含めない

1	2	3

G2i. ベッド上の可動性

1	2	3

G2j. 食事

1	2	3

G3. 移動/歩行

G3a. 主な室内移動手段

- 0. 器具なしで歩行
- 1. 器具を使用して歩行：杖、歩行器、松葉づえ、車いすを押す
- 2. 車いす、電動車いす、電動三輪車（スクーター）
- 3. 寝たきり

1	2	3

G3b. 4メートルの歩行時間 利用者が第一歩を地面につけたときに計測開始。4メートルのマークを超えた時点の秒数を記入する

テストを始めたが終了できなかった場合,77

テストを拒否した場合,88

テストをしなかった場合（一人で歩けない場合）,99

1	2	3

G3c. 歩行距離

過去3日間において、支援を必要に応じて受けた状態で、途中一度も座ることなく歩くことができた最長距離

- 0. 歩かなかった
- 1. 5m未満
- 2. 5～49m
- 3. 50～99m
- 4. 100m以上
- 5. 1km以上

1	2	3

G. 機能状態

<p><b>G3d. 車いす自操距離</b> 過去3日間に車いすを一度に自己操作して移動した最長距離</p> <p>0. 車いすを押してもらった      1. 電動車いすや電動三輪車(スクーター)を利用した                  2. 5 m未満 自己操作した      3. 5~49 m 自己操作した                  4. 50~99 m 自己操作した      5. 100 m以上 自己操作した                  8. 車いすは使用しなかった</p>	<table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <td style="width: 33%; text-align: center;">1</td> <td style="width: 33%; text-align: center;">2</td> <td style="width: 33%; text-align: center;">3</td> </tr> <tr> <td style="height: 20px;"></td> <td style="height: 20px;"></td> <td style="height: 20px;"></td> </tr> </table>	1	2	3						
1	2	3								
<p><b>G4. 活動状況</b> G4a. 過去3日間に於いて体を動かした時間の合計(散歩など)</p> <p>0. なし      1. 1時間未満                  2. 1時間以上2時間未満      3. 2時間以上3時間未満                  4. 3時間以上4時間未満      5. 4時間以上</p>	<table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <td style="width: 33%; text-align: center;">1</td> <td style="width: 33%; text-align: center;">2</td> <td style="width: 33%; text-align: center;">3</td> </tr> <tr> <td style="height: 20px;"></td> <td style="height: 20px;"></td> <td style="height: 20px;"></td> </tr> </table>	1	2	3						
1	2	3								
<p>G4b. 過去3日間に家(建物)の外に出た日数(短時間でもよい)</p> <p>0. 1日もない      1. 過去3日間は出ていないが、通常は3日間のうちには出ている                  2. 1~2日間      3. 3日間</p>	<table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <td style="width: 33%; text-align: center;">1</td> <td style="width: 33%; text-align: center;">2</td> <td style="width: 33%; text-align: center;">3</td> </tr> <tr> <td style="height: 20px;"></td> <td style="height: 20px;"></td> <td style="height: 20px;"></td> </tr> </table>	1	2	3						
1	2	3								
<p><b>G5. 身体機能の潜在能力</b></p> <p>0. いいえ      1. はい</p> <p>G5a. 本人は自分の身体機能が向上すると信じている                  G5b. ケアスタッフは本人の身体機能が向上すると信じている</p>	<table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <td style="width: 33%; text-align: center;">1</td> <td style="width: 33%; text-align: center;">2</td> <td style="width: 33%; text-align: center;">3</td> </tr> <tr> <td style="height: 20px;"></td> <td style="height: 20px;"></td> <td style="height: 20px;"></td> </tr> <tr> <td style="height: 20px;"></td> <td style="height: 20px;"></td> <td style="height: 20px;"></td> </tr> </table>	1	2	3						
1	2	3								
<p><b>G6. 過去90日間(または前回アセスメント以降)のADLの変化</b></p> <p>0. 改善した      1. 変化なし      2. 悪化した      8. 判定不能</p>	<table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <td style="width: 33%; text-align: center;">1</td> <td style="width: 33%; text-align: center;">2</td> <td style="width: 33%; text-align: center;">3</td> </tr> <tr> <td style="height: 20px;"></td> <td style="height: 20px;"></td> <td style="height: 20px;"></td> </tr> </table>	1	2	3						
1	2	3								
<p><b>G7. 自動車の運転</b></p> <p>0. いいえ,または運転していない      1. はい</p> <p>G7a. 過去90日間に車を運転した                  G7b. 過去90日間に運転した場合,運転を制限したり,やめたほうがいいと誰かに言われた様子があった</p>	<table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <td style="width: 33%; text-align: center;">1</td> <td style="width: 33%; text-align: center;">2</td> <td style="width: 33%; text-align: center;">3</td> </tr> <tr> <td style="height: 20px;"></td> <td style="height: 20px;"></td> <td style="height: 20px;"></td> </tr> <tr> <td style="height: 20px;"></td> <td style="height: 20px;"></td> <td style="height: 20px;"></td> </tr> </table>	1	2	3						
1	2	3								

H. 失禁

<p>H1. 尿失禁</p>	<p>0. 失禁しない 2. まれに失禁する 4. 頻繁に失禁する</p>	<p>1. カテーテルや瘻があり,失禁しない 3. ときに失禁する 5. 失禁状態 8. 尿の排泄はなかった</p>	<p>1    2    3</p> <table border="1" style="width:100%; height: 20px;"> <tr> <td style="width:33%;"></td> <td style="width:33%;"></td> <td style="width:33%;"></td> </tr> </table>			
<p>H2. 尿失禁器材 (オムツやパッドは除く)</p>	<p>0. なし 2. 留置カテーテル</p>	<p>1. コンドームカテーテル 3. 膀胱瘻,腎瘻,尿管皮膚瘻</p>	<p>1    2    3</p> <table border="1" style="width:100%; height: 20px;"> <tr> <td style="width:33%;"></td> <td style="width:33%;"></td> <td style="width:33%;"></td> </tr> </table>			
<p>H3. 便失禁</p>	<p>0. 失禁しない：完全なコントロール．瘻なし 1. 瘻があり，失禁しない：過去3日間瘻を用いてコントロールされている 2. まれに失禁：過去3日間失禁はないが，失禁したことがある 3. ときに失禁：毎日ではないが失禁 4. 頻繁に失禁：毎日失禁するが，いくらかコントロールされている 5. 失禁状態：コントロールはない 8. 排便はなかった：過去3日間に排便はなかった</p>		<p>1    2    3</p> <table border="1" style="width:100%; height: 20px;"> <tr> <td style="width:33%;"></td> <td style="width:33%;"></td> <td style="width:33%;"></td> </tr> </table>			
<p>H4. オムツやパッドの使用</p>	<p>0. なし      1. あり</p>		<p>1    2    3</p> <table border="1" style="width:100%; height: 20px;"> <tr> <td style="width:33%;"></td> <td style="width:33%;"></td> <td style="width:33%;"></td> </tr> </table>			

I. 疾患

<p>疾患コード</p>	<p>0. なし      1. 主診断である 現時点の主な診断 (1つ以上も可) 2. 診断があり,治療を受けている：治療には,投薬,療法,創傷のケアや吸引など その他専門技術を必要とするケアが含まれる 3. 診断があり,経過観察されているが,治療は受けていない</p>																					
<p>11. 疾患</p>		<p>1    2    3</p>																				
<p>筋骨系</p>	<p>11a. 過去30日間 (または前回アセスメント以降) の大腿骨骨折 11b. 過去30日間 (または前回アセスメント以降) のその他の骨折</p>	<table border="1" style="width:100%; height: 20px;"> <tr> <td style="width:33%;"></td> <td style="width:33%;"></td> <td style="width:33%;"></td> </tr> </table> <table border="1" style="width:100%; height: 20px;"> <tr> <td style="width:33%;"></td> <td style="width:33%;"></td> <td style="width:33%;"></td> </tr> </table>																				
<p>神経系</p>	<p>11c. アルツハイマー病 11e. 片麻痺 11g. 対麻痺 11i. 四肢麻痺</p>	<p>11d. アルツハイマー病以外の認知症 11f. 多発性硬化症 11h. パーキンソン病 11j. 脳卒中/脳血管障害</p>	<table border="1" style="width:100%; height: 20px;"> <tr> <td style="width:33%;"></td> <td style="width:33%;"></td> <td style="width:33%;"></td> </tr> </table> <table border="1" style="width:100%; height: 20px;"> <tr> <td style="width:33%;"></td> <td style="width:33%;"></td> <td style="width:33%;"></td> </tr> </table> <table border="1" style="width:100%; height: 20px;"> <tr> <td style="width:33%;"></td> <td style="width:33%;"></td> <td style="width:33%;"></td> </tr> </table> <table border="1" style="width:100%; height: 20px;"> <tr> <td style="width:33%;"></td> <td style="width:33%;"></td> <td style="width:33%;"></td> </tr> </table>																			
<p>心肺系</p>	<p>11k. 冠動脈疾患 (CHD) 11m. うっ血性心不全 (CHF)</p>	<p>11l. 慢性閉塞性肺疾患 (COPD) 11n. 高血圧症</p>	<table border="1" style="width:100%; height: 20px;"> <tr> <td style="width:33%;"></td> <td style="width:33%;"></td> <td style="width:33%;"></td> </tr> </table> <table border="1" style="width:100%; height: 20px;"> <tr> <td style="width:33%;"></td> <td style="width:33%;"></td> <td style="width:33%;"></td> </tr> </table>																			
<p>精神</p>	<p>11o. 不安症 11q. うつ</p>	<p>11p. 双極性障害 11r. 統合失調症</p>	<table border="1" style="width:100%; height: 20px;"> <tr> <td style="width:33%;"></td> <td style="width:33%;"></td> <td style="width:33%;"></td> </tr> </table> <table border="1" style="width:100%; height: 20px;"> <tr> <td style="width:33%;"></td> <td style="width:33%;"></td> <td style="width:33%;"></td> </tr> </table>																			
<p>感染症</p>	<p>11s. 肺炎</p>	<p>11t. 過去30日間の尿路感染症 (UTI)</p>	<table border="1" style="width:100%; height: 20px;"> <tr> <td style="width:33%;"></td> <td style="width:33%;"></td> <td style="width:33%;"></td> </tr> </table>																			
<p>その他</p>	<p>11u. がん</p>	<p>11v. 糖尿病</p>	<table border="1" style="width:100%; height: 20px;"> <tr> <td style="width:33%;"></td> <td style="width:33%;"></td> <td style="width:33%;"></td> </tr> </table>																			
<p>12. その他の診断</p>	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="width:40%;">診断名</th> <th colspan="3">疾患コード (1~3)</th> </tr> <tr> <th style="width:15%;">1</th> <th style="width:15%;">2</th> <th style="width:15%;">3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="height: 20px;"></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="height: 20px;"></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="height: 20px;"></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			診断名	疾患コード (1~3)			1	2	3												
診断名	疾患コード (1~3)																					
	1	2	3																			